## 訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 訓練実施施設名: 問合世先住所: 問合せ電話番号:		株式会社KEGキャリア・アカデミー   職業訓練のアップ 梅田校 ■土日祝日訓   〒 5 3 0 - 0 0 0 1 ■法定講習に   大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル16階 ■相モデルに   06-6454-1115 ■合同開催に									定講習に係	系る補講:		全日あり		0	あり 有料 なし なし	/ O なし 無料	
			~	実践コース	( 03 堂	( 03 営業·販売·事務分野 )							就職を想定する職業・職種						
訓練の種		練の種別		職場復帰支援コ(※基礎コースの			託児サービス	くコース			豆時間訓練コース 時間以上100時間未満)								
_				「企業実習促進奨励金 希望する場合に「O」を									経理事務員、総務事務員、OA事務員						
訓練科名			経	理・総務・パソ	コン実践科									栓理=	事務貝、脳	8 粉事務員	į̀、UA∌	粉貝	
募集期間(予定)				令和7年10月31 E	日 ~ 令和7年11月20日														
選考日(予定)				令和7年12月1日	3							<u> </u>							
		<b>里考方法</b>	~	面接			筆記試験			その他(			)						
ì		結果通知日	+	令和7年12月8日 今和7年12月8日							4.1	- ·	/ #464 m #4						
	-	練期間												B	)				
			9 時 20 分 ~ 15 時 50 分																
訓練対象者の条件			村に	-なし 新規学校卒業者	—	二一ト等の若者   障害者								母子	-家庭の母	· <b>等</b>			
(特定		練推奨者 <sup>を想定する場合のみ)</sup>	L	被災者		外国人 その他 (							)						
訓練目標 (仕上がり像)				美の経理・総務職に必要でである。 では、実践で役立つPo									ワトの操作スキ	Fルを身	}につける	。また、汎	用性の	高い	NordとExcel
		- P - P - P - P - P - P - P - P - P - P		に加え、実践で役立つPowerPointのOAスキルを習得し、事務部門で活躍できる人材を目指す。 名称( 日商簿記検定試験 3級 ) 認定機関( 日本商工会議所 ) ✓ (											任意受験				
		ļ		称( 日商簿記検定 称( 給与計算事務		試験 2級 ) 認定機関(								日本商工会議所 ) <u>イ</u> 任意受験 一般社団法人 実務能力開発支援協会 ) <b>イ</b> 任意受験					
訓		多了後に取得 きる資格		称( 給与計算実務 称( 給与計算実務							) 認定		一般社団法人 一般社団法人					-	任意受験 任意受験
ぐさる貝恰		ではは		称( ワークルール樹		た では では できます また できます かい できま できます かい できま							一般社団法人 Migragett	日本ワ	1ークルーバ	レ検定協会	( )	~	任意受験
		ļ				ffice Specialist(MOS) Word 365(一般) )認定機関( Microsoft ffice Specialist(MOS) Excel 365(一般) )認定機関( Microsoft								)	-	任意受験 任意受験			
(1	) IT	分野の訓練に	おけ	る基本奨励金の特	,例措置(IT	Γ特伊	川)の適用に係る	ა希望σ	り有無	៛(適用をネ	6望す?	る場合の∂	み「〇」を記入	.)					
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「〇」を記入)																			
(3	) D	×推進スキル∤	標準:	対応の訓練における	る基本奨励	カ金ℓ	の特例措置(DS:	S特例)	の適り	用に係る着	希望の?	有無(適月	 月を希望する <sup>」</sup>	場合の	み「〇」を	記入)		$\Box$	
		訓練概要	経理・総務の事務職全般の知識を習得するとともに、OAソフト等のパソコンの操作技術を身につける。(訓練時間が異なる日があります。)											ш					
Ì	_		科目		T	科目の内容												訓練時間	
Ì		入校式等			入校式(才	リエン	テーション)(3H)、修	多了式(2	2H)									_	
Ì		簿記•経理知識		模式簿記の仕組み、勘定科目、簿記上の取引、帳簿(仕訳帳・総勘定元帳・補助簿)、商品売買、現金預金、手形と小切手の仕組み、日常的に発生する債権・債務、固定資産、消費税、法人税、伝票(入金・出金・振替)、仕訳日計表、試算表、決算整理事項、精算表、財務諸表(貸借対照表・損益計算書)												72時間			
Ì		商業簿記知識		他)、減価償	企業会計原則、期末商品の評価、売上原価の計算、各種引当金、株式と資本、有価証券、剰余金、法人税、消費税、固定資産(有形・無形・その他)、減価償却、各種税法(法人税、住民税、事業税、固定資産税、消費税)、決算の流れ、財務諸表の種類、外貨建取引、圧縮記帳、リース取引、税効果会計、本支店会計、合併と事業譲渡、連結会計												96時間		
	学	工業簿記知識				製造業会計、勘定の流れ、製造原価、費目別計算(材料費・労務費・経費)、部門別計算、個別原価計算、総合原価計算、変動費・固定費、短期利益計画と原価予測の方法、標準原価計算、原価差異、直接原価計算、製造原価報告書、製造業の財務諸表、本社工場会計												ā期利	96時間
	科	総務·人事·労務		里知識		【総務】年間スケジュール、社内環境整備、社内規定・就業規則、コンプライアンス、個人情報保護法 【人事・労務】採用・退職、雇用形態の種類と労働契約、福利厚生、社内の安全管理体制、労使協定												24時間	
		社会保険·給与	⊹計算	〔·年末調整知識	【給与計算】	【社会保険】健康保険・厚生年金保険・雇用保険の制度と概要、年間事務手続き、給付手続き、年度更新 【給与計算】給与・賞与・退職金の計算実務、所得税と住民税の控除 【年末調整】源泉徴収票、法定調書													60時間
練内	ļ	安全衛生			情報機器作	<b>手業の</b>	注意点、健康課題、	労働安全	≧衛生法	<b>去</b>									1時間
容	ļ	情報リテラシー。	とセニ	キュリティ概論		ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークに関する知識、情報処理システム、情報漏洩の原因、個人情報保護とセキュリティ、ウイルスに関する知識、情報処理システム													5時間
Ì	ļ				識、情報モラル・ルール ジョブ・カード作成支援、応募書類(履歴書・職務経歴書)作成指導、模擬面接指導														18時間
ŀ	-	就職支援 経理総合演習			決算の手続	ンコン 「「下ルス」は、ルグ音音/以底に音・物の地に音/下ル日本・长波に回答1日本 決算の手続き、帳簿の締め切り、試算表・精算表の作成、伝票の起票、日計表の作成、財務諸表(貸借対照表・損益計算書)の作成、出納帳・元 帳の記帳、製造原価報告書の作成													
Ì	実	経理·給与計算	実践	演習	【会計王】期中仕訳·決算処理、日計表·財務諸表作成 【給料王】給与·賞与計算入力、年末調整入力、源泉微収票作成													36時間	
Ì	技	ビジネスパソコン	 習	【Word】文字入力、書式設定、ベージ設定、ビジネス文書(社内・社外文書)作成、ワードアート・図形を用いた資料(薬内状)作成 【Exce】ワークシートの基本、表作成、関数、スタイル、条件付き書式、入力規則、グラフ作成、ビボットテーブル、データベース活用、表やグラフを組み合わせた資料(請求書・売上表・販売実績表)作成 【PowerPoint】スライ作作成・編集、アメージョンの設定、ブレゼンテーション資料の作成・発表												96時間			
ļ		人类中羽			<u> </u>						ノテーショ	ョン資料の作	F成·発表					-	
ŀ		企業実習 職場見学、職 <sup>‡</sup>	場体	験、職業人講話			しない 「事務職の仕事に		施する		—							-	6時間
Ì		訓練時間総合計	540時間	学科		372時間		技	162⊞	寺間	企業実	習 0時	間	職場見	学等	6時間	1		
Ì	受講者の負担する費用				教科書	他(		<u> </u>				)	15,000	円 )	É	合計			15,000円
	訓練形態(個別指導・補講を除く)				✓ 全て														
指導方	施設設備や教材等を有効に活用 した効果的な指導のための工夫				放課後1時間の自習時間には、講師がフォローアップに努め質疑応答に随時対応する。受講者が自由に利用できるパソコンを設置し、訓練の予習・復習はもちろん、就職活動の準備などに活用していただく。														
法		受講者ごとの特別に応じた指導の対			また、	、定期	に演習問題を繰り 目的なアンケートを 添削や模擬面接な	実施し、	、受講	者の習熟度	度向上に	こ努める。	 わせて授業中や	た放課後	後に講師が	が個別に対	対応する	) o	

